

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	長野県高齢者生活協同組合	代表者	社浦康三	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならない、しない」をスローガンに持つ「長野県高齢者生活協同組合」を母体に持ち「地域のより所」を目指して設立しました。通い・訪問・宿泊、それぞれのサービスを馴染みのスタッフが行うことで、利用者に安心感を持ってもらうことが出来ます。また、利用者の都合による通いから訪問、訪問から泊まり等、サービスの変更依頼にも柔軟に対応して家族の負担を軽減します。
事業所名	かがやきの家笹部	管理者	石川真奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	7人	人	人	1人	1人	1人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 認知症をより深く理解するため関係の外部研修を受講していく。 常勤スタッフを中心に事業所の在り方について話し合いの場を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本人のニーズがつかめないまま援助に入っている。外部研修も参加できず。 柔軟な対応が出来る部分もあった。 利用者ミーティングは夜の為、プライベートにも影響が出てしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの意見を見ても専門用語が多く分かりづらい所があった。又、時間的に余裕がない事はスタッフ本人の資質なのか待遇や雇用条件なのか根本の解決策が話し合えていないと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族、地域の方にも分かりやすい事業所づくりを目指す。 スタッフ間での情報共有、ミーティングを通じて、それぞれの介護技術チェックを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 居室の相部屋化（複数利用者の使用）について検討する。 事業所内の整備を行い、裏の倉庫を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響もあり相部屋化は困難だった。夫婦での受け入れもなかった。 裏の倉庫の整備が進まず。会議室を作る等も途中で終わってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナで事業所に行く事を遠慮し現場を見づらい状況があった。 会議室、デイルームは綺麗に整理されていた。感染症対策で苦労しているのが伺えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策をどの程度緩和するのか職員の確認を行い利用者及び家族と関係者に示していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域からの相談件数のUPを目指しお知らせの配布等実施する。地域ボランティアとの関りも再度実施に向けて準備していく。	<ul style="list-style-type: none"> 5月以降も感染症対策が続き地域に関わる事が困難だった。 本人と地域の関わりが分からずアプローチの仕方が分からなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所として「こういう風に地域と関わっていきたい」というのを明確にする方がお互い関わりやすいと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議、個別ケア会議で地域の代表の方と情報共有、相談を行っていく。地域で行っているイベントや行事の参加について検討していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の外出の取組みを更に広げていく。地域の文化展など行事への利用者の参加を計画する。	<ul style="list-style-type: none"> ポスティングによるPRは行ったが地域に出向いて活動するまでには至らなかった。 保育園と交流や外食等も計画したが、やはりコロナで実現できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に対しても「〇〇に関しては協力して関わられる」と示していただけると予定、予算も組みやすいので運営推進会議で遠慮せず発信してほしい。 神社等に出かけているので今後につながる感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者本人が地域の行事に参加していくためにはどうしたらよいか家族と相談したうえで町会長、組長と相談していく。 外食等の外出レクも他の事業所の意見も参考に緩和していきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	2か月に一度の具体的な開催を行い、交流を行うようにする。その中で事例検討についても行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> 書面での報告だったが、12月にやっと対面での開催が出来た。 事例検討までは行えなかったが活動報告や助言は頂くことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ後、苦勞されている中ではあるが、対面での会議を開催出来ている。 事故報告等は分かりやすく報告出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方から意見を聞き、どのような関りが持てるか検討する。 地域と事業所の関りについて定期的な話し合いを実施する。
F. 事業所の防災・災害対策	BCP（事業継続計画）に基づき今必要な設備の構築や物品の備蓄を進める。大地震や洪水を想定した訓練を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> BCPは法人内でも統率が取れず予定より遅れてしまっている。そのため地域の防災計画を知ることもリンクさせることも難しかった。 訓練も洪水を想定しての訓練は出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災、災害対策の資料を見せていただけると分かりやすい。 もう少し具体的に災害計画を出していただけると地域の災害計画とリンクさせていけるのではないかと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> BPC計画を基に災害対策を地域と連携して行っていく。地域の避難訓練に参加したり、管理者以外のスタッフも地域の皆さんと顔の見える関係づくりを目指す。

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画に取り組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・認知症を、より深く理解するため関係の外部研修を受講していく。 ・常勤スタッフを中心に事業所の在り方について話し合いの場を持つ。	6	2	1
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	7	1	1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6	1	2
3	前回の改善計画に対して、具体的な取り組みが行われていましたか？	6	1	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	1	3

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・居室の相部屋化（複数利用者の使用）について検討する。 ・事業所内の整備を行い、裏の倉庫を活用する。			9
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4	1	4
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		5
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3		6
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3		6

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・地域からの相談件数のUPを目指しお知らせの配布等実施する。 ・地域ボランティアとの関りも再度実施に向けて準備していく。	4	1	3
1	職員はあいさつできていますか？	4		5
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		5
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	2	4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	5	2

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか ----- 【前回の改善計画】 ・利用者の外出の取組みを更に広げていく。 ・地域の文化展などの行事への利用者の参加を計画する。	3		6
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1	3	5
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1		8
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	3	4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1		8

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・2カ月に一度の具体的な開催を実施し、交流を行うようにする。その中で、事例検討についても行っていくようにする。	5		3
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		3
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	1	5
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4	2	3
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	1	4

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- ・BCP（事業継続計画）に基づき、必要な設備の構築や物品の備蓄を進める。 ・大地震や洪水を想定した訓練を実施する。	2		6
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	4	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	2	6
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		7	2
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		5

以上で終了です。ありがとうございました